

原稿校了後の前兆変化について

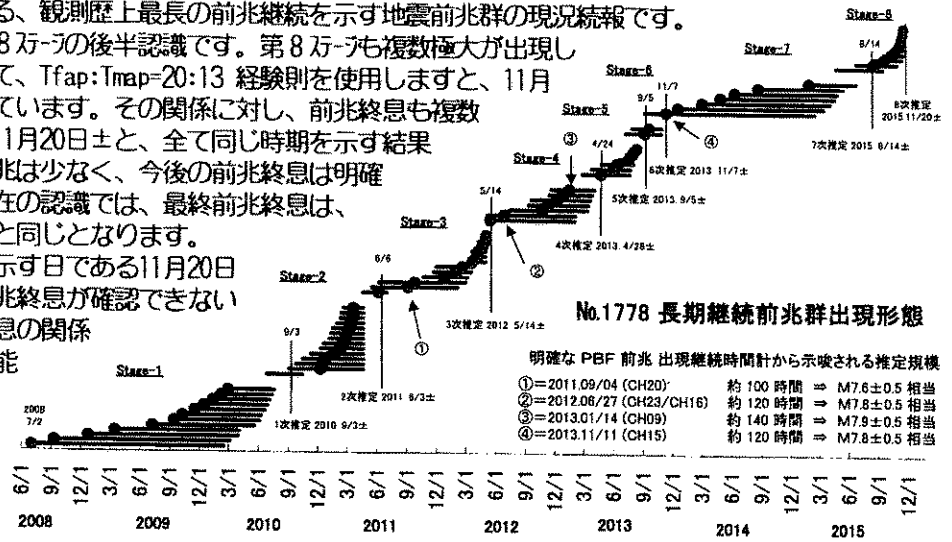
八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続特殊前兆 現況続報 第8ステージが示す時期→11月20日±

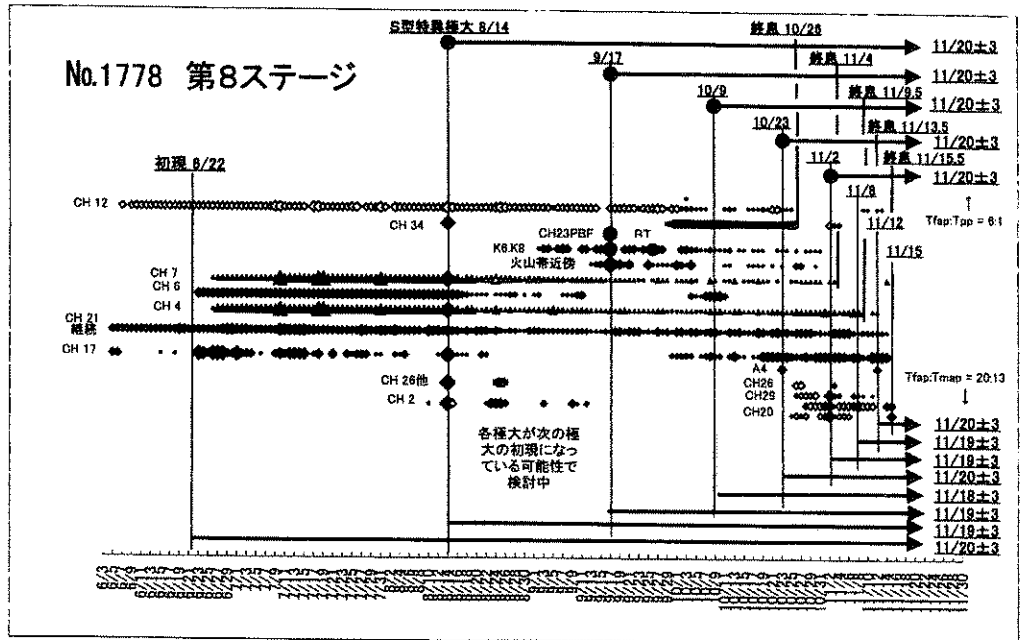
2008年07月より実に7年4ヶ月継続となる、観測史上最長の前兆継続を示す地震前兆群の現況続報です。No.1778前兆群は現在下図のとおり、第8ステージの後半認識です。第8ステージも複数極大が出現していますが、各極大の初現を前の極大として、Tfap:Tmap=20:13 経験則を使用しますと、11月19-20日と全て同じ時期を示す関係となっています。その関係に対し、前兆終息も複数観測されており、極大と終息の関係からも11月20日±と、全て同じ時期を示す結果となっています。但し、現在明確な継続前兆は少なく、今後の前兆終息は明確に確認できない可能性が示唆されます。現在の認識では、最終前兆終息は、11月19-20日となり、第8ステージが示す時期と同じとなります。

仮に第8ステージが最終前兆で、第8ステージが示す日である11月20日±が地震発日となる場合でも、発生まで前兆終息が確認できないこととなります。下記は、初現-極大-終息の関係を示したものです。() は今後出現する可能性のある前兆変化日の予測です。

Table with 3 columns: 初現-極大-終息, 推定日. Rows include dates from 06/22 to 11/15 with corresponding predicted dates like 11/20±.



No.1778 長期継続前兆群出現形態
明確な PBF 前兆 出現継続時間計から示唆される推定規模
①=2011.09/04 (CH20) 約 100 時間 ⇒ M7.6±0.5 相当
②=2012.06/27 (CH23/CH16) 約 120 時間 ⇒ M7.8±0.5 相当
③=2013.01/14 (CH09) 約 140 時間 ⇒ M7.9±0.5 相当
④=2013.11/11 (CH15) 約 120 時間 ⇒ M7.8±0.5 相当



第8ステージが示す時期は11月20日±です。通常であれば、これが地震発生日となりますが、現在迄にこの様な形で、示された日が次のステージの初現や極大となり、次ステージに移行し、前兆群が再び継続出現してきました。

既に報告の通り、現認識が正しい場合は上記の関係が続き、11月19-20日に止まることになり、計算上の発生日まで前兆が継続し、終息は確認できないこととなります。従って現段階で今回の推定日が地震発生日であるのか、又は推定日に極大や新規前兆初現が現れ、次の第9ステージに移行し前兆継続となるかの判断は困難。但し予測通りピーク終息が観測されてきました。現在継続中前兆もCH17と21の特異の2つのみ。現在が最終段階である可能性は十分考えられるため注意が必要。仮に11月22日段階で地震発生が無く、前兆極大や新たな前兆出現が観測された場合は、第9ステージに移行することとなりますので続報で報告させていただきます。

- ◆推定領域: 右図 太線内=大枠推定 斜線域=可能性考え易い参考推定領域
◆推定規模: M7.8±0.5
◆推定時期: 第8ステージが示す時期=11月20日±1 (第8ステージが最終の場合=11月20日の可能性高い)

- ※但し、11/22迄に発生無く新規極大又は新規前兆出現となった場合は第9ステージに移行し、地震発生はより先となる可能性となる為、その場合は続報で報告。
◆地震種: 震源が浅い日本列島地殻地震
◆発生推定時刻: AM9:00±1 or (PM6:00±3)

